

みらい医療推進センター10周年記念式典

日時 令和元年7月13日(金) 15:00～16:30

場所 フォルテワジマ4階 大ホール



本学みらい医療推進センターは、平成21年7月に設置されてから今年で10周年を迎えるにあたり、記念式典、記念講演会を開催しました。

宮下和久理事長・学長は開会の主催者挨拶にて、「当センターでは疾病予防に重点をおき、診療所では生活習慣病・老化予防、本院にはない漢方医学や美容皮膚科などの医療を提供し、研究所ではスポーツ医科学や障がい者スポーツなどの研究、県民の皆様への体力トレーニングや国体・パラリンピック選手のサポートに加えて、当センターは障がい者スポーツ医科学研究拠点として、大学の枠を超えた共同研究拠点の認定を文部科学省から受け国内外の研究者と共同研究を行っており、この拠点の活動については国から最高ランクのS評価をいただきました。このように10年続けてこられたのも、皆様からのご支援によるものと心から感謝しており、引き続き皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。」と述べました。

その後は羽野卓三診療所長より、10年の歩みとしてセンター開設時からこれまでに紹介した後、宮下理事長から株式会社島精機製作所代表取締役会長へ感謝状を贈呈、ご来賓の方々から祝辞を賜り、祝電を披露して式典の第1部が終了しました。

第2部として、みらい医療推進センターの田島文博センター長より『身体活動の重要性とこれからの和歌山県立医科大学みらい医療推進センターの役割—地域医療、予防医学、そして臨床医学研究の融合—』について、障がい者の就労支援をしている企業の環境や特色、障がい者スポーツについての研究や成果、本学のリハビリテーションに関しての特徴や身体活動を継続することの重要性について講演が行われました。その後、げんき開発研究所の三井利仁副所長より、患者数や会員数の推移や学術活動、共同研究やサポート事業についてセンターの成果発表があり、記念式典を終えました。